

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2021年10月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第40週(10月4日～)から第43週(～10月31日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における10月の上位6疾患の合計は23.33で9月の4週間換算値の21.26と比べて横ばいだった。同じ10月では、過去10年間で比べると2020年の14.164に次いで2番目に少なく、対新型コロナウイルスの感染予防対策により、日常的感染症は抑制された状態である。

1位は感染性胃腸炎で9.30と9月(9月1位4週換算値8.49)に比べて横ばいであった。2位は手足口病で6.38(同3位3.34)、3位はヘルパンギーナで2.64(同4位1.96)、4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.01(同5位1.51)といずれも増加した。5位はRSウイルス感染症で1.57(同2位4.60)と減少した。6位は突発性発疹で1.43(同6位1.36)と横ばいだった。

### 〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は、図1左に示すように、11月2日には2億4千万人を、死亡者は500万人を超えた。患者数を国別で比較すると、1位米国(4,609万人、人口あたりの感染率14.01%)、2位インド(3,428万人、感染率2.51%)、3位ブラジル(2,181万人、感染率10.34%)、4位英国(914万人、感染率14.03%)、5位ロシア(841万人、感染率5.77%)、6位トルコ(806万人、感染率9.66%)、7位フランス(727万人、感染率10.77%)、8位イラン(593万人、感染率13.25%)、9位アルゼンチン(528万人、感染率8.74%)、10位スペイン(501万人、感染率9.95%)である。

日本の患者数を図1右に示す。4月～6月はアルファ株(英国型変異株)、7～8月はデルタ株(インド型)の流行による患者急増がみられた。9月・10月は増加がゆるやかになっており、ワクチン接種推進の効果が現れてきたと思われる(全国では全人口の79.1%が2回の接種を受けた)。しかし、先行してmRNAワクチンを進めたイスラエルでは再度流行がみられている。新たな変異株の出現も想定され、このまま流行が収束することはないという前提に立って、3回目の接種等の対策を立てたい。11月2日時点の国内の感染者は1,722,966人、死亡者は18,275人となった。

COVID-19は高齢者ほど重症化しやすい。図2に示すように、各年齢層の死亡率は年齢依存性があるが、80代以上14.4%、70代5.4%、60代1.5%である。死亡率が若干上昇傾向にあるのは、デルタ株の毒力が従来株よりも強いせいであるだろうか?ワクチン接種者と未接種者とで死亡率に差があるのかなどの解析結果はまだ公表されていない。

図3Aに年齢層別に、10月26日時点で累積感染者数が人口に占める割合を図3Bに示す(総務省統計局作成の2021年8月現在人口推計を用いて算出<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202108.pdf>)。感染者の割合は、20歳代が最大で3.27%(100人あたり3.27人が感染)、次いで30代の2.02%、40代1.47%、50代の1.26%と続く。80代以上は0.62%で、70代の0.48%よりも高い。10代が1.59%、10歳未満が0.97%と増加している。すでに米国では5歳～11歳の学童への接種が開始されたが、わが国でも検討されるであろう。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	計
1	感染性胃腸炎		2.15	2.30	2.24	2.61	9.30
2	手足口病		1.53	1.71	1.62	1.52	6.38
3	ヘルパンギーナ		0.61	0.71	0.71	0.61	2.64
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	0.48	0.49	0.60	2.01
5	RSウイルス感染症		0.48	0.43	0.36	0.30	1.57
6	突発性発疹		0.34	0.38	0.37	0.34	1.43

# 県内情報

## 1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の10月の上位6疾患の合計は12.25で9月の4週間換算値25.74と比べて減少し、全国よりも少なかった。減少の原因は、手足口病とRSウイルス感染症が減少したことである。同じ10月で比べると過去10年で最低であった。

1位は感染性胃腸炎で4.46（9月3位4.36）と横ばいであった。2位は手足口病で3.39（同1位10.31）と減少した。3位は突発性発疹で1.28（同6位0.94）、4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.25（同5位0.99）といずれも増加した。6位は流行性結膜炎で0.66（同7位0.80）と減少した。県内で1位から6位の感染症は、いずれも全国よりも少なかった。

## <新型コロナウイルス感染症 COVID-19>

高知県におけるCOVID-19の月別患者数を図4に示す。東京五輪とともに急増し8月の集計は1,382人に昇った。8月25日には、県の1日最多の111人を記録した。9月は632人と減少に転じ、10月は64人でぐんと減った。

図5に高知県における年齢別患者数の推移を示す。7月以降に60歳以上の感染者数は減少しているのは、高齢者へのワクチンが行きわたった効果と思われる。しかし10月は感染者数が減った一方で、60歳以上の割合が再び増加した。11月2日時点の集計は感染者は4,166人、死亡は32人である。

県の対応ステージは、8月19日に「特別警戒（赤）」から「非常事態（紫）」に引き上げられ、同27日「まん延防止等重点措置」が9月12日まで適応された。患者数の減少を受けて9月22日から「特別警戒（赤）」に、28日から「警戒（オレンジ）」に、10月11日には「注意（黄）」に引き下げられている

ワクチン接種は順調に進んでおり、10月31日時点で（表3）、県人口の84.4%が1回目を接種し、81.2%が2回目を受け終わった。65歳以上の88.9%が2回接種を完了し、12-19歳も6割が2回接種を終えている。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	計
1	感染性胃腸炎		1.14	0.61	1.46	1.25	4.46
2	手足口病		1.46	0.75	0.89	0.29	3.39
3	突発性発疹		0.36	0.21	0.32	0.39	1.28
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	0.50	0.18	0.43	1.25
5	ヘルパンギーナ		0.71	0.25	0.07	0.18	1.21
6	流行性角結膜炎		0.00	0.33	0.00	0.33	0.66

図1,2021年11月2日時点でのCOVID-19（厚生労働省HPから）

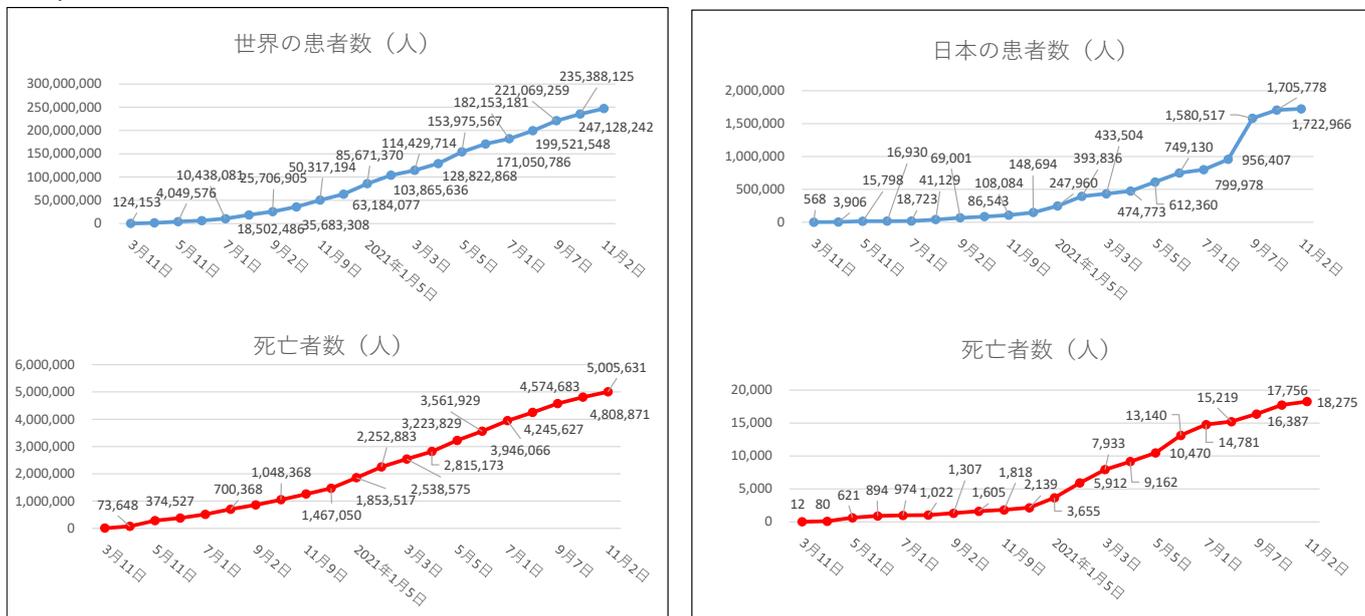


図2.高齢者におけるCOVID-19死亡率の経時的推移



図3A, 経時的な年齢層別感染者数



図3B, 年代階層別の感染者割合 (2021/10/26時点)

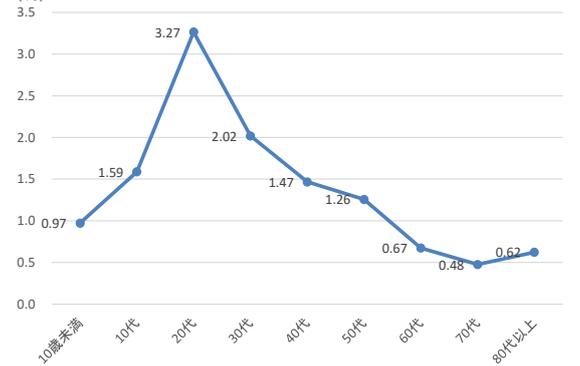


図4.高知県のCOVID-19月別患者数 ~2021年10月31日

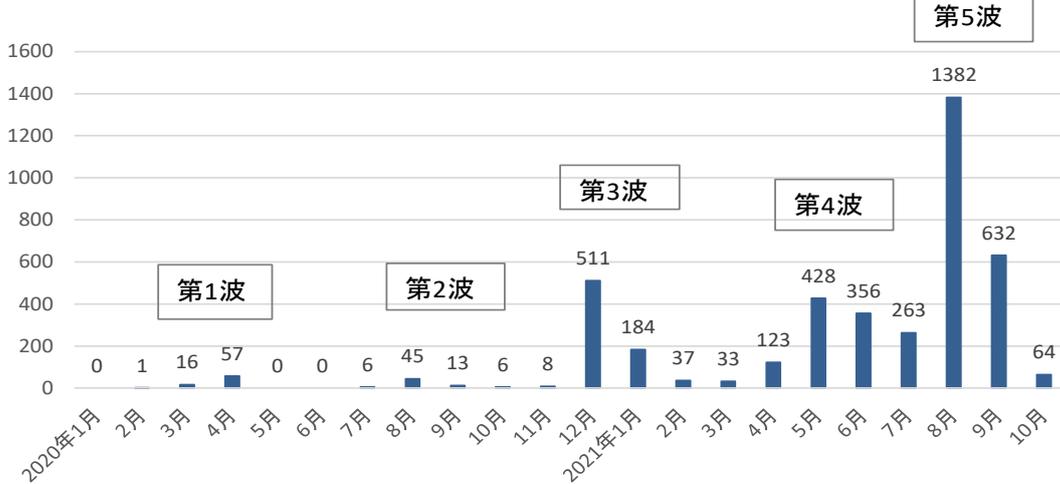


図5,高知県におけるCOVID-19患者の年齢別患者数の経時変化

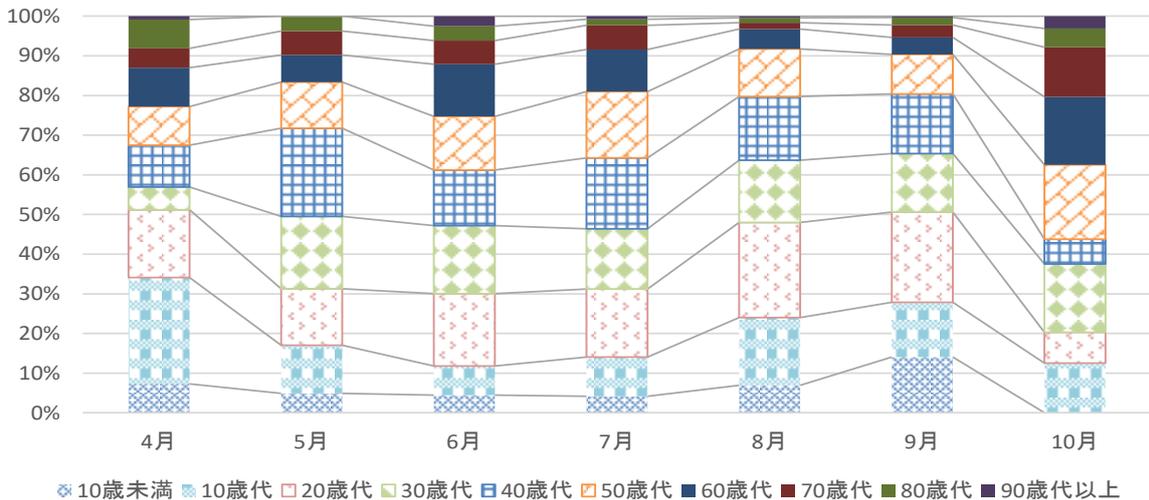


表3 高知県における年代別コロナワクチン接種率 (10月31日時点)

	1回目	2回目
<b>全国</b>	<b>84.9 %</b>	<b>79.1 %</b>
高知県全体	84.4 %	81.2 %
65歳以上	89.8 %	88.9 %
60～64歳	86.4 %	85.1 %
50代	84.9 %	82.8 %
40代	78.7 %	75.6 %
30代	73.0 %	67.9 %
20代	71.0 %	64.0 %
12～19歳	67.1 %	60.4 %

## 2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。引き続き、衛環研のCOVID-19流行による業務増大のため、感染症発生動向調査としての他ウイルス検出は実施していない。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 0名(9月 0名)。2020-21年シーズンは流行がなく、これは統計がある1998年以降で初の現象であった。対新型コロナの感染対策とインフルエンザワクチン接種の徹底によるものだったと推測される。インフルエンザワクチンの接種時期を迎えて、昨年同様の接種励行が求められる。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 8名(9月 12名)。少なめで推移している。幡多、高知市、中央東から報告された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 35名(9月 35名)。少なめで推移している。安芸以外の全域から報告され、特に幡多、高知市が多かった。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 125名(9月 153名)。ノロウイルス流行で5月は増加したが、その後、減少しており、10月は同時期として過去10年で最も少なかった。県下全域から報告され、高知市、安芸、幡多が特に多かった。

### 5) 水痘

報告数 9名(9月 12名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。幡多で4名、高知市で2名、安芸、中央西、中央東から各1名が報告された。

### 6) 手足口病

報告数 95名(9月 361名)。2020年は7月と10月にピークがあり二峰性であった。10月をピークとした流行が年を越えてだらだらと続いていた。2021年は、7月から増加を続けたが10月は減少し、平年並みの流行規模となった。県下全域から報告され、特に多かったのは、須崎、幡多である。起因ウイルスはまだ同定されていない。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 3名(9月 3名)。2020年9月以降は1けたの報告数である。中央東から2名、幡多から1名が報告された。

### 8) 突発性発疹

報告数 36名(9月 33名)。想定内の変動である。

9) ヘルパンギーナ

報告数 34名(9月 127名)。2020年は遅れて流行し10月をピークにその後だらだらと続いた。2021年は5月に流行が始まり、同時期としては過去10年で最多で早い流行を迎えた。6月、7月となだらかに増加して平年並みの流行規模に落ち着き、8月は減少、9月は再度増加したが10月は著減した。幡多、須崎、高知市、中央東から表記の順に多く報告があった。流行ウイルスはまだ特定されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 0名(9月 4名)。1桁の少ない数で推移している。

11) RSウイルス感染症

報告数 1名(9月 193名)。2020年は3月以降減少し、本来の流行期である11月～3月は異例のゼロが続いた。2021年は、5月57名、6月395名、7月1,543名と急増した。8月は1,013名と減少に転じ、9月は193名、10月は1名と収束した。季節外れの爆発的流行であり、とくに7月は、年間報告数(過去10年間の平均値1,114名)を1か月の報告数が上回った。まる1年間RSウイルスの流行がなかったため、免疫のないウイルス感受性児が蓄積されて、大きな流行になったと推測される。安芸から1名が報告された。

12) 流行性角結膜炎

報告数 2名(9月 3名)。高知市で2名が報告された。

13) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(9月 1名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年以降は6名/年以下で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は1例もなく、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(9月 0名)。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年2名、2021年も2名と少数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(9月 0名)。2020年11月以降は、同時期として過去10年間で最も少ない報告数が続いている。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 26名(9月 20名)。平年並みである。高知市、幡多、中央東、安芸から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名(9月 0名)。2020年1月以降は発生をみとめていない。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

## 高知県における月別全数報告疾患（令和3年10月）

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2	結核	1	5	6	7	3	4	5	6	8	3	48
4	重症熱性血小板減少症候群		2			1	1					4
	日本紅斑熱			1	2	2	3	1		2	3	14
	レジオネラ症						3	1	1	2		7
5	アメーバ赤痢										1	1
	ウイルス性肝炎	1										1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1		1	1				4
	急性脳炎							1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1		1			1				4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		2	1	1	2			1		8
	水痘（入院例に限る）							1		1		2
	梅毒	8	4	4	6	8	13	6	10	14	6	79
	破傷風	1										1
百日咳						1			1		2	
	総計	14	12	13	18	15	28	17	17	29	14	177

# 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2021年

10月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ										
小児科	咽頭結膜熱		1	3			4	8	12	36	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	14	2	1	14	35	35	54	
	感染性胃腸炎	8	18	77	2	3	17	125	153	176	
	水痘	1	1	2	1		4	9	12	26	
	手足口病	1	5	29	11	19	30	95	361	197	
	伝染性紅斑		2				1	3	3	3	
	突発性発疹		9	17	5	4	1	36	33	68	
	ヘルパンギーナ		2	12		5	15	34	127	171	
	流行性耳下腺炎								4	5	
	RSウイルス感染症	1						1	193	1	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			2				2	3		
STD	性器クラミジア感染症			1			1	2	7	4	
	性器ヘルペスウイルス感染症		1					1			
	尖圭コンジローマ									2	
	淋菌感染症			1				1	4		
基幹	細菌性髄膜炎								1		
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎									6	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)								1		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	20			3	26	20	23	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症			1					1		
計		12	45	179	21	32	90	379	969	772	
前月		37	137	342	73	81	299				
前年同月		28	123	325	23	49	224				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

# 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

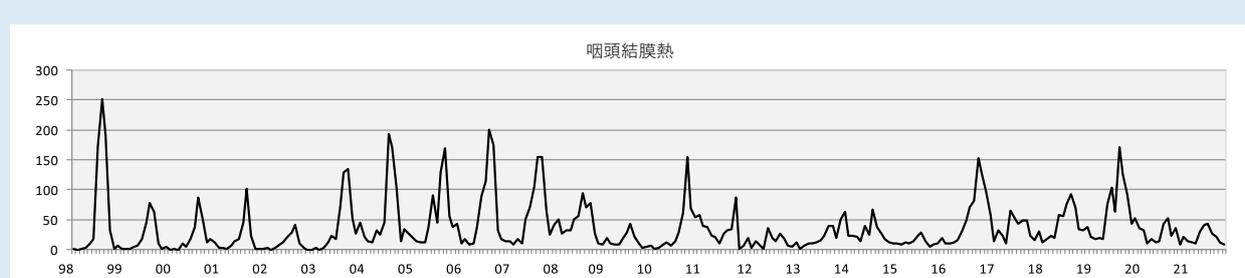
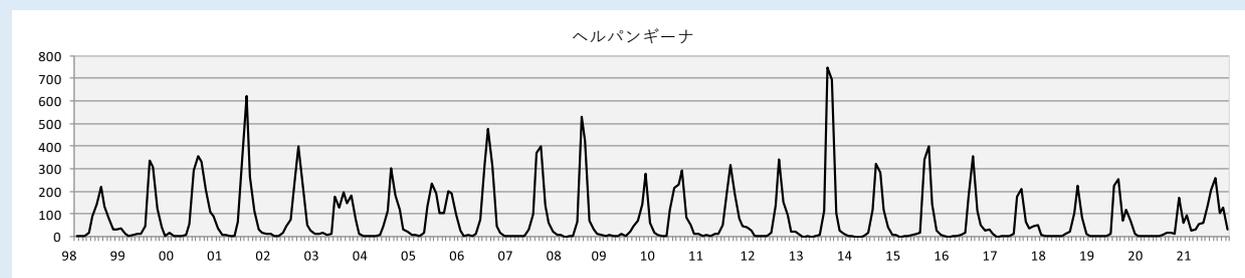
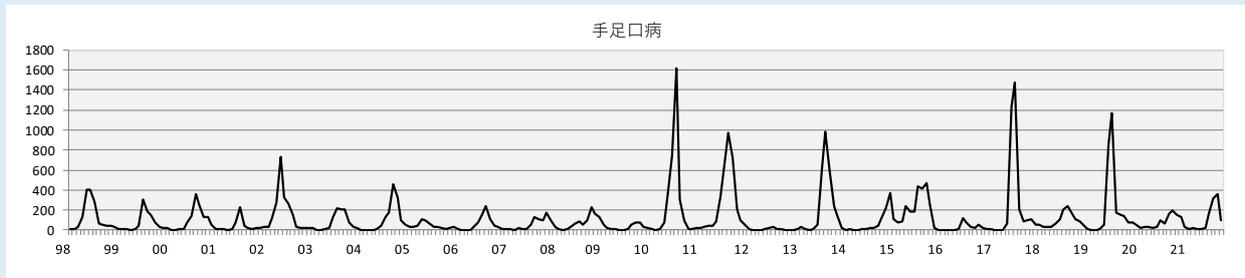
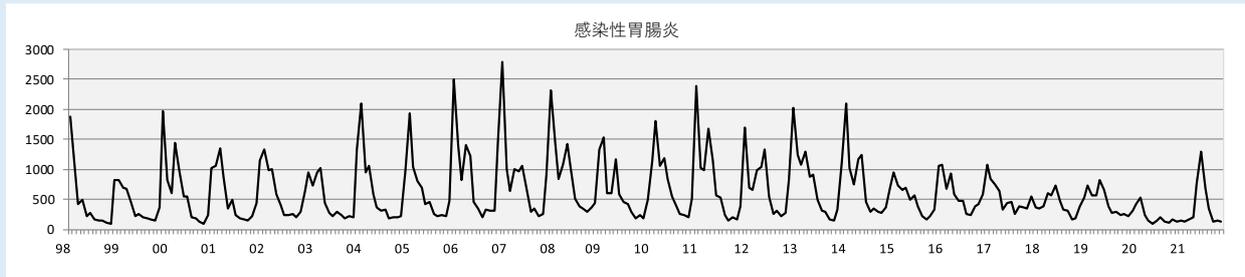
2021年

10月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ										
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.33			0.80	0.30	0.44	1.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	1.55	0.66	0.50	2.80	1.25	1.24	1.93	
	感染性胃腸炎	4.00	2.56	8.54	0.66	1.50	3.40	4.46	5.45	6.29	
	水痘	0.50	0.14	0.22	0.33		0.80	0.33	0.43	0.93	
	手足口病	0.50	0.72	3.22	3.66	9.50	6.00	3.39	12.89	7.05	
	伝染性紅斑		0.28				0.20	0.11	0.12	0.11	
	突発性発疹		1.29	1.89	1.66	2.00	0.20	1.28	1.17	2.43	
	ヘルパンギーナ		0.29	1.33			2.50	3.00	1.21	4.53	6.10
	流行性耳下腺炎								0.15	0.19	
	RSウイルス感染症	0.50						0.04	6.90	0.04	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			2.00				0.66	1.00		
STD	性器クラミジア感染症			0.50			0.50	0.33	1.17	0.67	
	性器ヘルペスウイルス感染症		0.50					0.17			
	尖圭コンジローマ									0.33	
	淋菌感染症			0.50				0.17	0.67		
基幹	細菌性髄膜炎								0.13		
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎									0.77	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)								0.13		
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	4.00			3.00	3.25	2.50	2.88	
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌 感染症			0.20					0.13		
小児科定点分計		5.50	5.99	17.08	6.97	16.00	17.20	12.37	33.32	26.35	
前月		18.50	19.01	34.63	24.31	40.50	59.40				
前年同月		14.00	17.57	32.99	7.65	24.50	43.40				

# 注目される疾患別月別推移



類型	病名	報告年																				総計				
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		2019	2020	2021	
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	48	1858	
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	48	1858	
3	コレラ	1					1						1												3	
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2					27	
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		207	
	腸チフス			1					1									1					1		4	
	バラチフス	2																							2	
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	243	
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2		34	
	E型肝炎												1		1								2	1	5	
	オウム病				1		1														1				3	
	Q熱	1	1	2				1																	5	
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	4	
	つつが虫病			9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	93	
	デング熱													1			3	2	1				2		9	
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	14	209	
	日本脳炎	1	1	1					1				1	1											6	
	マラリア								2						1								1		4	
	レジオネラ症			2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	7	
	レプトスピラ症												1		4	2	1					1			9	
		計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	25	518
	5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	48
ウイルス性肝炎		11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1			2	1	1	2	1	61	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																		7	19	21	22	21	20	10	4	
急性弛緩性麻痺																						1	2		3	
急性脳炎									1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	22	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	3		35	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1				1		1		3		1		3	5	6	2	2	4	32	
後天性免疫不全症候群		2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		81	
ジアルジア症			1	2	1							1			1	1					1				8	
侵襲性インフルエンザ菌感染症																		1	5	3	4	7	3	1	1	
侵襲性肺炎球菌感染症																	1	4	12	16	18	14	22	11	8	
水痘（入院例に限る）																			2	1	1	3		3	2	
髄膜炎菌性髄膜炎												1													1	
梅毒		2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	79	310	
播種性クリプトコックス症																				1	3	5			9	
破傷風				3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1								1							1		1	1			5	
百日咳																						173	172	35		
風しん											1	1			4	9	1				3			19		
麻疹												5												5		
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	104	1324	
新型	新型インフルエンザ																								34	
	計																								34	
動物	鳥インフルエンザ																								1	
	計																								1	
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	177	3978	